



第 11 回 所内写真コンクール入選作 「地殻のしわ」 燃料部 石油課 鈴木 尉元

地 殻 の し わ

この写真を見るたびに こんなに大きな(下の樹木と比較して)みごとな向斜構造を前にした時の感激がよみがえってくる。ペルシャ湾の湾頭付近に分布するイランの油田地帯を横切って 東北の背後地に地質見学に出掛けたのは 昨年の9月15日のこと。未だ日中は50°C近くまで気温が上り 野外調査は身体が全く疲れた。ク・イ・シ(シの谷)に着いた時にはそろそろ日も傾むき始め 大分グロッキーになっていた。しかしこの光景を前にした時には あまりのみごとさにしばらくボーッと立ちつくしてしまった。それからシャッターを何度も押したことはいうまでもない。

地層は この国の最も重要な油槽岩であるアスマリ石灰岩で時代は上部漸新~下部中新世である。背斜部はたいてい石灰岩が表面に出て小高い山または岡を形成し 向斜部は谷で地質構造は一目瞭然。100万分の1の地質図を持っていれば自分の位置を容易に確認することのできる いてみれば地質家の天国のひとつである。

人 事 異 動

4月1日付で次のとおり人事異動が行なわれた
 地質調査所地質部長 小林 勇(技術部長)
 " 技術部長 奥海 靖(地質部付)
 " 企画課長 佐藤 茂(図幅第一課長)
 昭和40年4月1日 工業技術院
 地質調査所資料課長 下平文男(北海道支所長)
 昭和40年4月5日 工業技術院
 なお 資料課長楠本克己技官は4月5日付で退職した

人 事 往 来

- ・地質部図幅第二課 小野晃司技官は 去る2月14日に1ヵ年の予定で 米国地質調査所において 火砕流堆積物の火山地質学的研究を行なうため出発した
- ・昭和38年9月サウジアラビア政府の招へいで 同国への技術協力のため出張していた 奥海靖技官を団長とする一行 小林・磯・桑形・加藤・畠中の各氏は無事任務を終了し 3月15日羽田着で帰国した
- ・去る3月15日台湾北部の海底炭田調査のため 上島宏(北海道支所) 森 小谷 駒井(以上物理探査部) 向井(測量課)の各技官が出発した 期間は4ヵ月の予定
- ・地質部応用地質課 中村久由技官は 米国カリフォルニアにおいて 地熱開発技術に関する研究のため 3月24日より1ヵ月間の予定で出発した
- ・物理探査部 長谷川博技官はユネスコ主催の石油地質学国際大学院コース受講のため 3月28日 10ヵ月間の予定で ルーマニアへ出発した

地質ニュース	第128号	4月号
昭和40年4月25日	定価	¥220 円
発行	工業技術院	地質調査所
編集	林 久	雄
発行人	株式会社	実業公報社
発行所	東京都千代田区九段4の11	(261) 7173・9387
	振替口座	東京32466
総発売元	政府刊行物販売所	東京都千代田区大手町1の5
	Tel. (261)	5 5 7 0
印刷所	共同印刷株式会	社